

全国大会で2位、世界大会で1位 飯山高校 自然科学部 MBR 班が大きな成果

飯山高校自然科学部 MBR 班の皆さん(大塚結愛さん、高藤陽菜さん、藤澤佳美さん、いずれも同校探究科2年)が、1月19日～25日に台湾・台北で開催された科学の世界大会「2025台湾国際科学フェア(TISF2025)」に日本代表として出場し、生物学部門において見事、1等賞(1位)となりました。



1月10日に飯山市役所を訪れ、江沢市長に全国2位の結果とTISFへの出場を報告する MBR 班の皆さん。

同校 MBR 班は、令和6年10月に東京で行われた「第19回高校化学グランドコンテスト」最終選考会に出場し、2位に相当する「科学未来賞」と「日本ゼオン・チャレンジ賞」をW受賞し、日本代表として推薦され TISF2025 に出場。「二酸化炭素吸収ポリアル MBR の開発」をテーマにした研究は、ミドリムシなどの緑藻類をアルギン酸カルシウムのビーズに閉じ込めたビーズ、MBR (ミドリバイオリアクター) を作り、その性質(培養特性、光合成能力、外部環境への影響など)を丁寧に調べたものです。

TISF2025は、世界30か国から選ばれた234チームが研究成果を発表する場とあって、飯山高校の MBR 班3名は、発表から質疑応答まですべて英語で対応。研究内容に加え、質疑応答の際の表現力も含め、総合的に評価された結果、世界1位という大きな成果を挙げました。



飯山市では長野県の協力をいただき、長野県飯山庁舎(飯山市大字静間の国道117号沿い)に懸垂幕を掲げました。

1月31日に同校で行われた報告会で MBR 班の3名はそれぞれ、「世界1位を取れるとは思わずうれしい。これからは自分たちがまだわかっていないところを研究し、MBR を環境問題につなげたい。」(大塚さん)、「世界1はうれしい気持ちより驚きが大きい。MBR が日本に広がり普及するよう、特性を理解したい。」(高藤さん)、「世界で1位を取れるとは思わなかった。コンテストでいただいた意見を参考に、研究を深めたい。」(藤澤さん)と話し、それぞれ今後も引き続き、研究を深めていく意欲を見せていました。

飯山からの出場選手の皆さん

- ◆全中・インターハイ・国スポ・ジュニア世界選手権・アジア大会
飯山から全国大会、世界大会に出場の皆さんをご紹介します。(敬称略、飯山市在住選手を掲載)
- ◆第62回全国中学校スキー大会(2月4～7日、野沢温泉村)
◆アルペン 清水雅俊(城南)
◆クロスカントリイ 齊藤隆希(城南)、山本湧心(城南)、丸山拓人(城南)、青木晴(城北)、深石新大(城北)、田中希果(城北)、木内絢花(城北)、青木倫乃(城北)、驚野ゆりあ(城南)、川久保莉美(城北)、青木倅乃(城北)
- ◆第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会(2月13～16日、秋田県鹿角市)
◆アルペン 保坂宙(長野優)
- ◆第74回全国高等学校スキー大会(2月7～11日、北海道釧路市名寄市)
◆アルペン 保坂宙(長野優)、鈴木華夏(中野西)
- ◆クロスカントリイ 高橋優太郎(飯山)、山崎宏(下高井農林)、高橋幸由実(飯山)、伊東咲幸(飯山)
- ◆リレー 飯山高校男子(4名)、飯山高校女子(3名)
- ◆第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会(2月13～16日、秋田県鹿角市)
◆アルペン 保坂宙(長野優)



1月31日に飯山市役所を訪れ、全国大会出場を報告した選手の皆さん。

- ◆英高校・少年男子
◆クロスカントリイ 沼田唯聖(東洋大学、成年男子)
- ◆A・成年男子リレー、野口晉継(中野立志館教、成年男子)
- ◆C・成年男子リレー、小林千佳(長野日野自動車)
- ◆C、成年女子B女子リレー、高橋幸由実(飯山高校、少年女子)、木内絢花(城北中、少年女子・女子リレー)

- ◆ジャンプ・コンバインド
村山未来翔(城南中、スベシャルジャンプ少年男子・コンバインド少年男子)
- ◆2025 FIS ノルディックジュニア世界選手権(2月、アメリカ)
◆ジャンプ
坂本季花(飯山高校)

- ◆第9回アジア冬季競技大会(2月、中国)
◆クロスカントリイ
小林千佳(長野日野自動車)

鬼は外～!福は内～! 保育園で節分の豆まき



節分に合わせて、各保育園では豆まきが行われました。いずみだ保育園の豆まきのこの日。前日のおやつには鬼退治に備え、きび団子を食べて力をつけた園児たちが「みんなの中にもいるかもしれない鬼も、まとめておいはらっちゃおう!」と聞いて、いざ、鬼退治!!
大きな声でやって来た鬼さんに「鬼は外～!福は内～!」と元気いっぱい豆を投げてやっつけ、自分の中の悪いものも追い出して、鬼さんに持って行ってもらいました。その後は、がんばった子ども達一人ひとりに、福の神様からごほうびをいただきました。

子どもの権利条約について

学習権 シリーズ

長野地方務局飯山支局長 小林 哲也

今なお世界には、戦争や貧困、虐待などで苦しむ子どもたちが大勢います。戦争で家族を失ったり、学校に通う機会を奪われたり、虐待を受けたりする子どもたちは後を絶ちません。
このような状況を改善するため、1989年に国連総会で「児童の権利に関する条約」(子どもの権利条約)が採択されました。この条約は、子どもが安心して成長できる社会を目指す国際的な約束です。日本は1994年にこの条約を批准し、子どもたちが健やかに生活できる環境作りに取り組んでいます。

この条約では、次の4つの大切な原則が定められています。

1. 差別されないこと(人種、性別、宗教、障がいの有無などの違いがあっても差別されない)
2. 子どもの最善の利益を考慮すること(何かを決め、行うときには、その子どもにとって一番良いことは何かを考えなければならない)
3. 命を守られ成長できると(全ての子どもには生きる権利があり、健やかな成長のために十分な教育や支援を受けることができる)
4. 子どもの意見は尊重されること(子どもの意見は、その子どもの年齢や成長に応じてしっかりと尊重される)

これらは、いじめや虐待、家庭環境の違いなど、子どもに関する課題を解決する上で重要な考え方です。例えば、いじめを防ぐには、子どもの声に耳を傾け、安心して学校等での生活を送れる環境を整えていくことが必要です。
また、子どもの意見を、その発達に応じて十分に考慮することで、子どもが自ら考え社会に貢献する力が育まれることが期待できます。
法務局では「子どもの人権110番」などの相談窓口を設けて、子どもの人権侵害に対応しています。子どもたちが明るい未来を描ける社会をつくるために、一度ゆっくりと子どもの権利について考え、できることを始めてみませんか。



開会式では東小学校の児童2名が選手宣誓を行いました。

飯山市と栄村の8校の児童が参加 第55回飯水小学校スキー大会 開催

1月29日、長峰クロスカントリーコースで、第55回飯水小学校スキー大会が行われました。この大会は、飯水地区小学校校長会が主催。雪国ならではの冬のスポーツであるスキーを通じ、自然の美しさや厳しさを知ったり、他校の児童との友好の輪を広げたりすることなどを目的に、順位をつけない記録会形式で開催しているものです。
競技は飯山市内の小学校7校と、栄村の栄小学校をあわせた計8校の5・6年生、約270名が参加。児童の希望によって、2キロまたは3キロのコースに分かれ、懸命に日頃のスキー学習の成果を発揮していました。

満蒙開拓平和記念館
「自治体パートナーウィーク」
昭和初期から国策として進められ、当地域をはじめ、長野県内からも多くの開拓民が送り出され犠牲を出した満蒙開拓の歴史に触れていたため、飯山市では満蒙開拓平和記念館(下伊那郡阿智村)のパートナー自治体として登録しています。
飯山市民の方は、以下の期間、満蒙開拓平和記念館入館が無料となります。この機会にぜひ訪ねてみませんか。

・所在地 下伊那郡阿智村駒場711番地10
・電話 0265-43-5580
【自治体パートナーウィーク】
令和7年(2025年)3月1日(土)～15日(土)
※運転免許証等の、住所がわかるものをご持参ください
(通常入館料 一般:600円 小中高生:300円)